

令和5年度学校評価自己評価表

評価計画					
	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価指標	目標値
学びに向かう力	主体的で深い学びのできる児童を育成する。	①対話的な学びを充実させる。 ②基礎基本の定着を図る。	①協調学習を全学級学期に1回以上実践し、授業改善につなげる。 ②学習者が主役となる授業づくりを行い、児童が課題意識をもつ。	①研究推進に関する質問「友達と話し合って、自分の考えを広めたり深めたりしています」の肯定的回答割合 ②国語・算数・社会・理科の期末テストにおいて得点率80点以上の児童の割合	①80% ②75%
豊かな心	自他のよさを認め、自分も人も大切にできる児童を育てる。	③自己指導能力を育成する。 ★自己決定の場を与える ★自己存在感を与える ★共感的人間関係を育成する	③児童一人一人が互いによさを認め合う活動を推進する。 (縦割り班活動 マラソン大会 学習発表会 学級での認め合い活動) ③児童会の毎月の月目標達成を意識させることで、より良い生活を送ろうとする意識を高める。	③児童質問紙「自分にはよいところがある」「自分のよさは周りから認められている」の肯定的回答の割合 ③児童会の毎月の月目標を守れた児童の割合の平均	③85% ③80%
健やかな体	心も体もたくましい児童を育成する。	④体力の向上を図る。 ⑤基本的生活習慣を確立する。	④自分の目標を決め業間運動に取り組む(マラソン・なわとび) ⑤実態把握をし、毎月1回のノーメディアデーを設定する。	④自分の目標を上回る児童の割合 ⑤ノーメディアデーにおいて、自分の目標を達成する児童の割合	④90% ⑤75%
信頼される学校	地域・保護者とつながり、信頼される学校づくりを推進する。	⑥情報発信と地域の人材活用を積極的に行う。 ⑦働き方改革を推進する。	⑥地域へ出向く、地域の方を招く活動を学期に2回以上実施する。 ⑥学校だより・学級通信の内容の充実を図る。 ⑥HPを週3回以上の更新する。 ⑦勤務時間管理を行う。 ⑦業務改善を行い、職員のワーク・ライフ・バランスを推進する。	⑥保護者質問紙「学校だよりやHP・学級通信等で学校の様子をわかりやすく伝えている」の肯定的評価の割合 ⑦月2回以上の17時退庁日が実施できた職員の割合 ⑦子供と向き合う時間が確保されていると感じる職員の割合	⑥90% ⑦100% ⑦90%